

- ・開催日時 : 平成26年10月30日(木)【交流会議】・31日(金)【現地見学会・意見交換会】
- ・開催場所 : 石川県金沢市 1日目:KKRホテル金沢 2日目:金沢城下 野町・弥生誘い街道ルート内
- ・参加者 : 全65名 アドバイザー(臼井氏、本省外池課長補佐)、招待PS(NPO法人地域づくりサポートネット 田中氏、NPO法人浅間山麓国際自然学校 橋詰氏)、ルート関係者、国・県・市担当者など

■北陸風景街道交流会議

- ・北陸風景街道交流会議は、風景街道のさらなる発展のため、情報効果や人的交流を目的として平成18年度より継続的に開催。
- ・今回は全13ルート中、10ルートが新たな取組や活動などを発表。また、ぐるり・富士山風景街道の田中氏、浅間ロングトレイルの橋詰氏を招き、「パートナーシップの活動と運営」について講演。



交流会議



各ルートの展示コーナー



交流会議参加者で

<アドバイザー、招待PSからの主なコメント>



【臼井純子(オフィス・ウスイ 代表)】

- ・地域が元気になるためには経済活動が必要。観光や物販などお金が落ちる仕組みを作ることが重要。
- ・ルート全体の魅力を高めていくために、休憩所の配置やカフェやお土産屋さんへの誘導など、女性の視点できめ細かく見ていくことがポイント。



【田中孝治(中部ブロック:ぐるり・富士山風景街道)】

- ・風景街道と道の駅は地域とつながる大きな財産である。
- ・ルートのアドバンテージ、関わる人のアドバンテージをしっかりと表現する事が重要。
- ・風景街道は地域にとって良い制度であるため、地域にプラスである立証が必要。



【橋詰元良(関東ブロック:浅間ロングトレイル)】

- ・補助金の申請書の記載方法にはテクニックがある。市町村や県・国の担当者と密に連絡を取り、申請書の記載ノウハウや補助金の情報を取りに行くことが大事。

■ 現地見学会、意見交換会



「金沢城下野町・弥生誘い街道」内の現地見学会(寺院・茶屋街巡り)
(まいどさん(ボランティアガイド)の案内で歴史あるルートを見学)



意見交換会
(現地見学会後、感想や改善点を議論)

○ 意見交換会での主な意見(現地見学会後、感想や改善点を議論)

- ・ガイド中にカフェに寄って休憩するなど、女性の視点や意見を取り入れた方がいい。
- ・ガイドコースにお土産屋を入れ、お金を落とす仕組みを。ガイドとお土産屋と提携も可能。
- ・お寺がたくさんあり売りになる。住職の話があり貴重な体験であった。付加価値を付ければいい。
- ・見る側の視点(立場)を大切に。
- ・歴史的な背景、お寺のつながり、ターゲット(対象者)等、テーマを設定してコース編成した方がよい。